



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <http://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	106,614	4.7	11,791	10.0	13,689	3.6	8,380	5.4
27年3月期第3四半期	101,855	12.3	10,719	34.3	13,212	21.9	7,948	23.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 6,651百万円 (△53.3%) 27年3月期第3四半期 14,239百万円 (6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	173.04	—
27年3月期第3四半期	164.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	158,586	78,532	44.4	1,446.66
27年3月期	156,443	74,786	42.2	1,366.47

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 70,418百万円 27年3月期 66,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	5.0	15,000	3.5	17,000	1.5	11,000	15.7	226.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	49,757,821株	27年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,080,744株	27年3月期	1,444,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	48,430,024株	27年3月期3Q	48,266,226株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済情勢は、米国では堅調な経済状況を背景に金融緩和政策を慎重に転換する判断が示されました。しかし、中国では経済の減速が鮮明となり通貨切下げを余儀なくされ、アジア新興国でも景気の低迷が続きました。欧州では引き続き金融緩和を継続し景気への後押しを図っていますが緩やかな成長ペースにとどまっています。原油価格の低迷で資源国の経済も鈍化しており、総じて不透明感が高まる状況となりました。

一方、日本では企業業績の緩やかな回復は持続していますが、世界経済における不透明感の高まりから景況感にやや曇りがでる状況となりました。

このような経済環境のもと、当社事業においても第3四半期に入りやや減速感がみられるようになりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,066億14百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益は117億91百万円(前年同期比10.0%増)、経常利益は136億89百万円(前年同期比3.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は83億80百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、建設機械向け製品の販売は中国市場の低迷を主因に伸び悩みましたが、自動車向け製品の販売が北米を中心に堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は637億78百万円(前年同期比0.8%増)となりました。営業利益は63億1百万円(前年同期比14.7%減)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内・海外での販売が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は249億75百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は28億9百万円(前年同期比65.1%増)となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、交換部品需要が第3四半期に入り減速感を強めていることから、当セグメントの売上高は113億37百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益は25億38百万円(前年同期比48.7%増)となりました。

[航空宇宙・光工学業界向け事業]

当事業は、航空宇宙関連製品及び光工学業界向け製品の販売がともに増加したことにより、当セグメントの売上高は65億22百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益は1億19百万円(前年同期は営業損失94百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,585億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億43百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産が17億99百万円、現金及び預金が13億26百万円、投資有価証券が12億28百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が17億71百万円、その他の流動資産が8億48百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第3四半期連結会計期間末の負債は800億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2百万円減少いたしました。これは主として電子記録債務が53億96百万円、短期借入金が47億43百万円増加した一方、その他の流動負債が77億25百万円、長期借入金が11億11百万円、賞与引当金が7億4百万円、買掛金が6億46百万円、未払法人税等が6億5百万円、その他の固定負債が5億46百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第3四半期連結会計期間末の純資産は785億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億46百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が63億14百万円増加した一方、為替換算調整勘定が24億54百万円、非支配株主持分が6億54百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,262	21,588
受取手形及び売掛金	30,964	29,192
電子記録債権	1,529	1,644
商品及び製品	4,975	5,086
仕掛品	7,355	7,907
原材料及び貯蔵品	5,804	5,605
その他	7,557	6,709
貸倒引当金	△159	△112
流動資産合計	78,289	77,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,953	19,075
機械装置及び運搬具（純額）	17,793	18,717
その他（純額）	10,144	10,898
有形固定資産合計	46,892	48,691
無形固定資産		
のれん	4,331	3,802
その他	1,899	2,543
無形固定資産合計	6,231	6,345
投資その他の資産		
投資有価証券	19,924	21,152
その他	5,360	5,029
貸倒引当金	△254	△253
投資その他の資産合計	25,030	25,928
固定資産合計	78,154	80,966
資産合計	156,443	158,586

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,235	7,589
電子記録債務	1,456	6,852
短期借入金	12,609	17,353
未払法人税等	3,052	2,446
賞与引当金	2,060	1,356
その他の引当金	369	205
その他	19,718	11,993
流動負債合計	47,502	47,796
固定負債		
長期借入金	20,907	19,796
引当金	322	336
退職給付に係る負債	11,562	11,309
その他	1,362	815
固定負債合計	34,154	32,258
負債合計	81,657	80,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,503	11,538
利益剰余金	41,821	48,136
自己株式	△940	△793
株主資本合計	62,875	69,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	522
為替換算調整勘定	4,565	2,110
退職給付に係る調整累計額	△1,922	△1,585
その他の包括利益累計額合計	3,143	1,047
非支配株主持分	8,767	8,113
純資産合計	74,786	78,532
負債純資産合計	156,443	158,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	101,855	106,614
売上原価	74,673	77,070
売上総利益	27,181	29,543
販売費及び一般管理費	16,462	17,751
営業利益	10,719	11,791
営業外収益		
受取利息	291	239
受取配当金	76	25
持分法による投資利益	1,619	608
為替差益	817	295
その他	645	1,315
営業外収益合計	3,449	2,484
営業外費用		
支払利息	490	361
寄付金	114	100
製品補償費	231	—
その他	119	124
営業外費用合計	956	586
経常利益	13,212	13,689
特別利益		
固定資産売却益	37	8
負ののれん発生益	18	—
その他	0	—
特別利益合計	55	8
特別損失		
固定資産売却損	34	8
固定資産除却損	84	63
その他	21	—
特別損失合計	140	71
税金等調整前四半期純利益	13,127	13,626
法人税等	4,444	4,474
四半期純利益	8,683	9,151
非支配株主に帰属する四半期純利益	734	771
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,948	8,380

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	8,683	9,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	49
為替換算調整勘定	4,247	△2,469
退職給付に係る調整額	267	334
持分法適用会社に対する持分相当額	863	△415
その他の包括利益合計	5,556	△2,500
四半期包括利益	14,239	6,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,836	6,284
非支配株主に係る四半期包括利益	1,402	366

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・建設機械業 向け事業	一般産業 機械業 向け事業	舶用業 向け事業	航空宇 宙・光工 学業 向け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	63,268	24,114	9,289	5,181	101,855	—	101,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	235	119	2	0	358	△358	—
計	63,504	24,234	9,291	5,182	102,213	△358	101,855
セグメント利益又は損失(△)	7,388	1,701	1,707	△94	10,702	16	10,719

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・建設機械業 向け事業	一般産業 機械業 向け事業	舶用業 向け事業	航空宇 宙・光工 学業 向け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	63,778	24,975	11,337	6,522	106,614	—	106,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	123	106	15	1	246	△246	—
計	63,902	25,081	11,353	6,524	106,861	△246	106,614
セグメント利益	6,301	2,809	2,538	119	11,769	22	11,791

(注) 1. セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。